

Z MAGAZINE

2013 No.49



巻頭特集

SPECIAL REVIEW

THE PRAYERⅦ レビュー

2012年12月17日(月)

六本木STB139スイートベイジル
東京

船上レビュー

姿月あさとコンサート ぱしふいつくびいなす

名古屋東京クルーズ2日間の旅

2012年12月20日(木)～12月21日(金)
ぱしふいつくびいなす

Asato Shizuki Self Produce Live
THE PRAYER VII

2012年12月17日(月)

六本木STB139スイートベジブル／東京

<曲目リスト>

1. サンクトゥス
2. It's alright with me
3. 約束の花束
4. 青空の鳥、籠の鳥
5. Englishman in New York
6. 夜のストレンジャー
7. ノルウェイの森
8. FOR THE LONGEST TIME
9. HAPPY XMAS
10. アメイジング グレイス
11. カヴァレリアススティカーナ
12. 夜明け
13. 見上げてごらん夜の星を

神聖な気持ちで
スタートした

THE PRAYER VII

ピアノが静かに響き渡る場内。黒のノースリーブに大きめのフリルがついたワンピースに黒のパンツ、胸元にはキラキラと輝くネックレスと左腕のブレスレットをつけた姿月が静かに優しく歌い始めました。ゆったりと儼かな雰囲気の中に心地よく響いてくる歌声。1曲目は、「サンクトゥス」。大人の夜を感じさせる次の曲「It's alright with me」JAZZ調の演奏に、姿月は足でリズムを刻んでいました。両手を広げてリズムをとったり、右手をSwingさせている姿が印象的でした。

曲が終わると「PA」の後ろの後ろまで座ってくれています。ありがとうございます。」と感謝伝えたり、髪の毛の色を変えた話などが飛び出しました。

今回のバンドメンバーは、榊原大さん(ピアノ)、天野清織さん(ギター)、竹下欣伸さん(ベース)、大石真理恵さん(パーカッション)の4名とどんなステージを繰り広げるのでしょうか。

ニユーアルバム

「Actress」の中から

3曲目は「約束の花束 赤いピンライト」がワンピースのフリル部分に当たり、まるでバラのようでした。歌詞の切なさをそのまま音楽で表現された今回のアレンジは、全体的に切なさや凝縮されたくらいでした。続けて「青空の鳥、籠の鳥」ピアノの低音と鳥のさえずりのような音、姿月ののびやかな歌が、絶妙でした。アコースティックギター、コーラス、ウィンドチャイムどれも効果的で、計算しつくされたステージのようです。

洋楽をアレンジした

パートで魅せる

とっておきのハーモニー

榊原 大さんがアレンジしたこの曲を聞いて歌いたい!と思った姿月。その曲はスタンディングの「Englishman in New York」続けて演奏されたビートルズの「夜のストレンジャー」「ノルウェイの森」も竹下欣伸さんがアレンジしたものを聞いた姿月が歌いたい!と思って選曲されました。MCでは、榊原さん、竹下さんに「迷惑ですか?」と聞く姿月に思わず会場も笑い

が起きました。それぞれ編曲された方によって違った印象を思わせるステージでした。このパートの姿月は、シェイカーを振ったり、首を左右に振ったりして、とても楽しそうでキラキラと輝いて見えました。「ノルウェイの森」の間奏部分でメンバー紹介。洋楽パートの最後は、「ビリー・ジョエルの「FOR THE LONGEST TIME」ステージ上の姿月とメンバーの4人が息を合わせ、全員がアカペラでコーラスも行いました。思わずため息が漏れるくらい美しいハーモニーでした。姿月は右手で指をパチンと鳴らしながら、リズムを刻んでいます。緑の照明がステージに当たり、まるで森の中であたたかみがあるような錯覚が起きた方もいらっしゃったとか。曲が終わると、会場からは割れんばかりの拍手が鳴り響いていました。さすが、ミュージシャンはコーラスもお上手です。

みんなで作り上げる
のが、姿月流

ステージの後方のスクリーンに譜面が映し出されました。お待ちかねの姿月先生のレッスンのお時間です。

今回はクリスマスが近かった



姿月あさと クリスマスディナーショー

2012年12月24日(月・祝) TKPガーデンシティ品川／東京

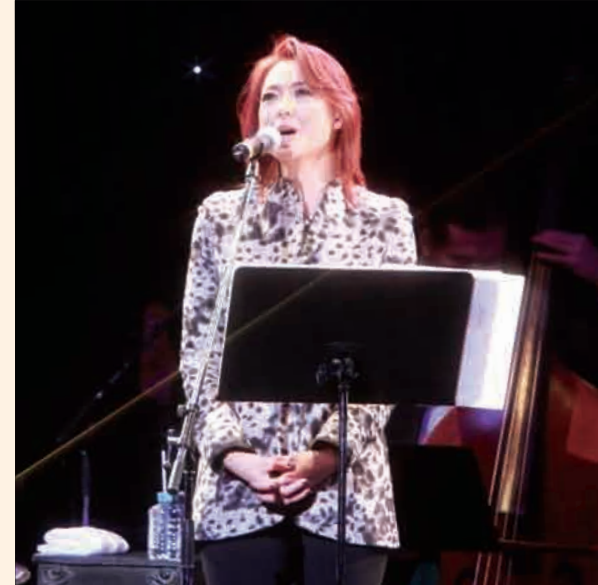


<曲目リスト>

1. G線上のアリア
2. 逢えてよかったね
3. 逢えてよかったねII
4. ハバナナ
5. Ave Maria
(カッチーニ、グノー、シューベルト)
6. ジュトウヴ
7. You raise me up
8. Actress
9. 祈り
10. アメイジンググレイス
11. 夜明け



2012年最後のコンサートが12月24日TKPガーデンシティ品川で行われたクリスマスディナーショーでした。
メンバーは、先の「ばいっくびいなす」でも共演された小原孝さんをバンドマスターに、溝口肇さん(チェロ)、大石真理恵さん(パーカッション)という編成。
「G線上のアリア」でたおやかに始まりました。衣裳はピンクを基調とした柄の華やかなドレスを着用。曲目は、小原孝さんの作品「逢えてよかったね」を挟んで、全体的にクラシックを中心とした選曲でした。
アンコールで黒いロングドレスで登場した姿月、2012年を締めくくるラストソングは「夜明け」でした。クリスマスらしい、荘厳なイメージのディナーショーとなりました。



クリスマスにふさわしい ラストソング

楽しい気分も少し落ち着いてきたところへ、グロッケンの音色が聞こえてきました。「アメイジンググレイス」です。とても心が洗われるような清々しい気分にならせてくれました。ふと、会場に目をやるとくいているようにステージを見守る観客。曲の中でも激しさと優しさが交じり合っていました。

ので、ジョン・レノン＆オノ・ヨーコの「Happy Xmas」です。この曲のどのパートがレッスンかというところ、それは、コーラスの部分です。会場を真ん中から左右に2つに分けて、それぞれのコーラスパートを数回練習しました。高い音は大きく聞こえることもこの時知った人も多いいのではないのでしょうか。みなさん予想以上に大きな声で歌っていたので、会場全体が一つになったところで、今度は、演奏＆姿月の歌と合わせる、と、とても素敵なクリスマスソングとなりました。姿月は、みなさんがコーラスを歌っているときに、両腕で三拍子の三角形をそれぞれ反対の順番で描いていました。

アンコールは やっぱりこの曲!

「カヴァレリアスチカーナ」ではアコースティックな編成。どこか凛々しくも聞こえる本編の終りとなりました。

客席からは、アンコールを促す拍手が続いています。すると、ステージにライトが灯され、ジャケッポ姿(中央上写真)の姿月が立っています。
アンコール1曲目は、姿月の代表曲「夜明け」です。この日の会場には、「夜明け」を作曲してくれた酒井康男さんも観に来てくださいました。

そして、最後の一曲は、「見上げてごらん夜の星を」。ステージ後方のライトが星のように輝き、まるで夜空の中で歌っているようでした。

すべてのステージが終了し、ステージ中央でメンバーと両手をつないで、大歓声の中、改めて感謝の気持ちをお伝えしたところで、今回のステージは幕を閉じました。
プレイヤーⅧも楽しみですね。次回もぜひご参加いただければと思います。

ドキドキのプレゼント交換会!
翌朝 オブザベーションラウンジにて、ファンクラブイベント。みなさんお待ちかねのプレゼント交換会です。事前にご用意いただいたプレゼントを姿月と直接、交換させていただきました。姿月からのプレゼントは、なんと2ショット撮影!! プチプレゼントとして、キャンドル・メッセー入りミニレターセット・名前入り直筆サイン入りフロマイドがセットになったもの。お一人ずつお名前を呼んで、プレゼントの交換。そして、その場での2ショット撮影!! あつという間でした。



ライブ後には、ビンゴ大会!! 姿月からは、シャンパンのプレゼントが用意されていました。しかも、よくみると、ボトルにサインがしてあるではないですか!! この細やかな心遣いがステキ!! この素敵な夜を記念して、集合撮影も。こうして、夜は更けていきました。



さらに、私物プレゼントです。抽選箱の中からみなさんのお名前が書かれたくじを姿月が引き、テーブルの上に置かれていた私物たちは、すべてみなさんのもとへ旅立ちました。予定時間よりも少し早めに私物プレゼントが終わったので、姿月の提案で、急遽! 質疑応答タイム!! みなさん、ここでしか聞けないとばかりにいろいろな質問をされていきました。



気がつく、船の旅も終了です。東京港へ入港、参加されたみなさんお一人お一人を、姿月と船員さんでお見送りしました。こうしてあつという間の16時間は過ぎていきました。たまには、クルーズもいいですね。



船上レビュー
**姿月あさとコンサート
ぱしふいっくびいなす
名古屋東京クルーズ2日間の旅**
2012年12月20日(木)~12月21日(金)
ぱしふいっくびいなす

日本で二番目に大きな豪華客船「ぱしふいっくびいなす」に乗船し、姿月とともにクルーズを愉しむ二日間。イベント盛りだくさんのクルーズの模様をお届けします。

エリザベート スペシャル ガラ・コンサート

2012年11月6日(火)~11月21日(水)

東急シアターオーブ/東京

2012年11月25日(日)~12月3日(月)

梅田芸術劇場メインホール/大阪



©梅田芸術劇場 Photo by 村尾昌美



©梅田芸術劇場 Photo by 村尾昌美

11月6日~21日まで東京、東急シアターオーブで、11月25日~12月3日まで大阪、梅田芸術劇場にて、エリザベートスペシャルガラ・コンサートが行われました。

歴代エリザベート出演者が、その夢の舞台、誰もが待ち望んだ奇跡の共演が実現いたしました。

姿月も6年ぶりのトリート閣下を懐かしくも新しい、初めて見た方も何度も観てきた方も心奪われる、迫真の演技で公演を重ねました。

今回の目玉は何と言っても夢の共演、今まで見たことのない配役の組み合わせに何度も観にいらした方もいたかと思えます。

時間がいくらあっても語りつくせないのではないのでしょうか。

思い出がよみがえる写真展
「ディナー会場へ向かう途中の長めの廊下を等間隔に姿月の特大写真が並んでいます。これは、あの時のかな?」「あ! これ懐かしい!」などの声も。今回、使用した写真は、まだどこにも使用していないものばかり。また、今後のファンクラブイベントのどこかで展示を計画中です。



いざ、乗船!!
船内に入ると、螺旋階段の真ん中に大きな白いクリスマスツリーが。船内のあちこちでいろいろなプログラムが催されており、みんなでダンスを踊ったりと、クリスマス気分を満喫中です。



いよいよライブ!
なんと22時半からライブがスタートしました。今回のステージは、ピアノニスト小原孝さんとご一緒です。姿月が繰り出す歌とおしゃべり。クリスマスソングを含む全12曲を、この日の為だけに用意されたオリジナルカクテル「夜明け」とともに楽しむ、まさに大人のステージショーとなりました。

